



奈川の人口  
平成 27 年 3 月 1 日現在  
総世帯数 357 世帯  
総人口 804 人  
男 377 人  
女 427 人

発行 奈川公民館  
発行者 勝山裕康  
編集者 公民館報編集委員会  
印刷 (株) プラルト

2月22日、奈川女性消防隊が救急救命法の講習会を開きました。消防署の職員を講師に迎え、AEDを使った救命方法を再確認しました。

奈川地区は救急車が来るまでに30分はかかることがあります。もし呼吸が止まつていれば到着を待つ余裕は当然ありません。その事実を改めて受け止め皆さん真剣に訓練をしていました。講師の話では、ショッピングセンターなどの人の集まるところであつても、倒れた人に誰も何もしていられない現場があつたそうです。せっかくAEDがあつても使うのは人。たとえ助けられな

## もしもの時の AED



### 「はじめてのヨガ」に参加して

寒さが身に染みる2月、福祉ひろばで行われ、年齢問わず定員いっぱいの参加者が集まりました。お香のいい香りが漂う中、レッスンは始まり、みなさん少し緊張気味でした

かつたとしても、やるだけのことはやつてみる。その気構えを持つて備えていたいものです。

1月19日から全5回、小学生を対象に夢の森でダンスレッスンを開催しました。最終日には発表もあり、練習した成果を保護者の方々に披露。小学5年生の白川晴茜さんは「ダンスは好きだったのでも、始まる前はワクワクしました。5回のダンスレッスンで準備体操がとても大切だということに気がつきました。このレッスンで私はダンスがさらに好きになりました!」と言つていました。

かから息を吸い込み、また鼻から出します。慣れない呼吸法に少し戸惑いながらも続けると、体がすっきりした感覚になります。次はいよいよ呼吸に合わせてポーズをとつていきます。筋肉がしっかりと伸び、代謝が上がるので、冷え症解消など様々な効果が得られます。

大事なことは、無理せず自分が一番気持ちいいと感じるポーズを見つけることだそうです。ヨガを通して、



かっこよく踊ろう!! キッズスター、

野麦路

小学2年生の冬休み、ダイヤモンドダストのように雪がキラキラ光る中、引越の荷物を運んでもらい、冷凍庫のような家に引っ越してきた頃のこと。娘も、4

月から中学生。この度、4年  
ほどお世話になつた館報編集  
委員を卒業させて頂きます。  
奈川とは縁もゆかりもない私  
たち親子ですが、奈川に来て  
困つたことなど一度もなく、  
親戚のようにかわいがつて頂  
き、感謝のことばが尽きませ  
ん。

2月20日、文化センターリ夢の森にて、奈川公民館主催による卓球を楽しむ催しが行われました。第2回目となつたこの日は、男女世代・実力の有無を問わず多くの方が参加し、楽しく体を動かしていました。少し動いただけで、着ていた防寒着を脱ぐ子ども達。まだまだ外は雪深い白一色でも、ホールの中の熱気は冷めることはありませんでした。



地域で学校を支援しています

# 奈川の歴史発見！⑥

平成26年度、松本版・信州型コミュニティスクール運営委員会として、公民館、保護者、地域住民（福祉ひろば・高齢者クラブなど）による学校支援活動事業が始まりました。これまで公民館が中心となっていた学校サポートを基盤に、地域が一体となつて子どもを育てるための仕組みを松本市が導入したものです。

年に数回の委員会に加え、奈川では昨年11月から今年の2月まで、中学3年生の放課後自習を見守つてきました。

放課後の見守りをされた方から子ども達へのメッセージを頂きました。

『子ども達が互いに教え合う姿、自分のことだけでなく皆のことを考える姿が

見られました。休憩時間には見守る係である私にも親しげに話しかけてくる楽しい時間でした。奈川という小さなコミュニティで樂しく暮らすには「人と人が心をつなぐ」という事が大切なポイントだと思います。子ども達はここで暮らし成長する中で、知らないうちに心をつなぐ力を身につけてきたのだろうなと感じました。地域づくりにおいて、奈川の子ども達は決して受身でなく、いつもその一員なのです。

そんな子ども達へのはなむけの言葉です。ありがとうございます。みんなの事を、地域のみんなが応援しています。』

最終回は、皆さんにもっともなじみのある『お地蔵様について』を紹介します。正式には『地蔵菩薩』といい、日本の民間信仰では、子どもの守り神として信じられています。お地蔵様を6体並べた『六地蔵』は、仏教の六道輪廻(今)での生命は6種の世界に生まれ変わり(繰り返す)の思想に基づき、六道のそれぞれを6種の地蔵が救うとする説から生まれたものです。この立派な地蔵は、寄合渡と入山を除く全町会にあります。

ぜ赤い前掛けをしているので  
しよう？諸説あります。一  
説を紹介します。「幼くし  
て亡くなつた我が子が、賽の  
河原で一人寂しく迷う時、お  
地蔵様に見つけて導いてもら  
うため、我が子の体臭が染み  
込んだよだれかけをお地蔵様  
にかけてお祈りをした。赤は  
魔よけの意味もあつたため、  
赤い前掛けをつける習慣として  
残つた」

今回で、奈川の歴史文化財  
紹介は終了となります。こ  
こで紹介したもの以外にも、  
各町会にはたくさんの歴史文  
化の宝物があります。少しの  
時間があればみる事が出来ま  
すので、先人たちが残した宝  
物を“すごいもんだ”と感じ  
ていただければと思います。

## 川浦の六地蔵 保平の六地蔵



田ノ萱の六地蔵  
文化五年七月（1808年）